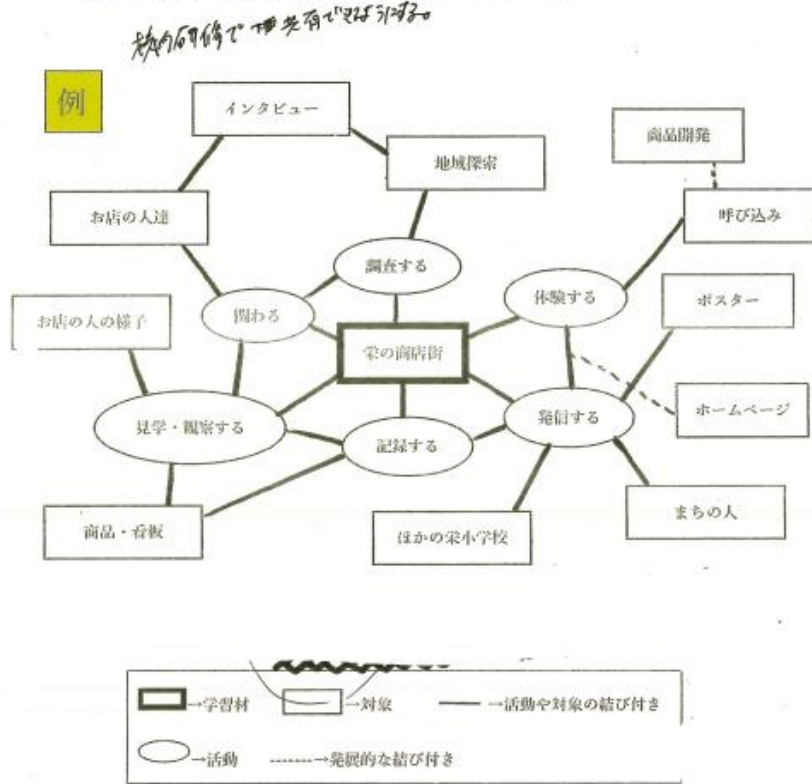


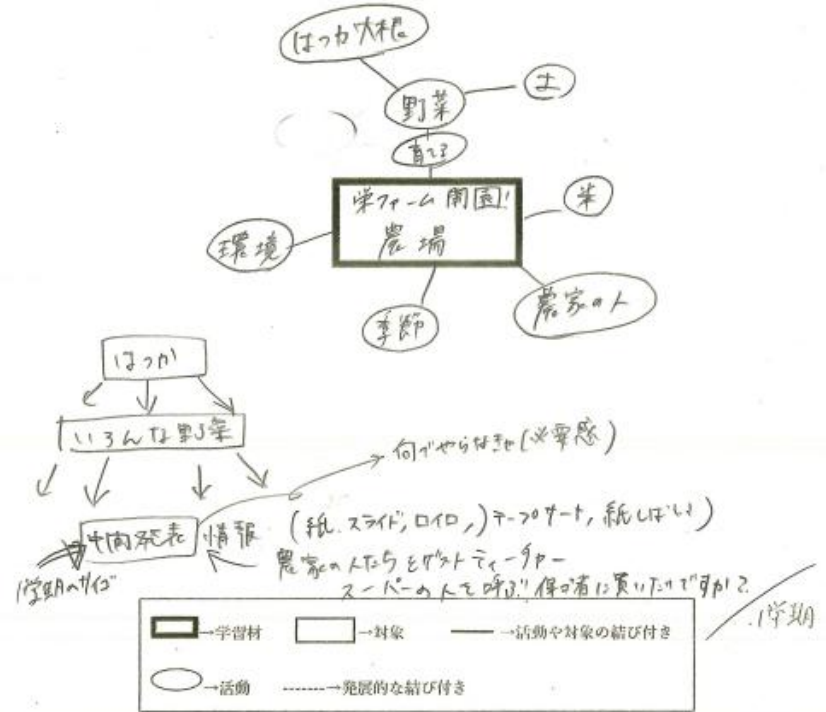
# (5)第5学年 ①単元構想

◎ウェビングをして、材としての広がりや想定してみましょう！（広がるものの方がよいです）  
このまま単元構想（小単元づくり）として、活用することもできます。



- 【学習材選定のチェックポイント】
- 子供たちが本気で「やりたい」「解決したい！」という思いや願いをもてるか
  - 達成感や成就感を味わうことができるものか
  - 身近にあって継続的に関わられるものであるか
  - 学習材に対して熱い思いをもっている人と関わることができるか
  - 「課題設定→情報収集→整理・分析→まとめ・表現」というスパイラルが向上できるか
  - 育成する資質・能力が図れるものか
- 単元学習時、児童が体験から気づいた本題に向き合い、創造力を駆使しながら解決しようとする探究の過程
- 子供たちが気付きや疑問をもち、関連付いたり、概念が形成されたりするものか

◎ウェビングをして、材としての広がりや想定してみましょう！（広がるものの方がよいです）  
このまま単元構想（小単元づくり）として、活用することもできます。



- 【学習材選定のチェックポイント】
- 子供たちが本気で「やりたい」「解決したい！」という思いや願いをもてるか
  - 達成感や成就感を味わうことができるものか
  - 身近にあって継続的に関わられるものであるか
  - 学習材に対して熱い思いをもっている人と関わることができるか
  - 「課題設定→情報収集→整理・分析→まとめ・表現」というスパイラルが向上できるか
  - 育成する資質・能力が図れるものか
- 単元学習時、児童が体験から気づいた本題に向き合い、創造力を駆使しながら解決しようとする探究の過程
- 子供たちが気付きや疑問をもち、関連付いたり、概念が形成されたりするものか

子供たちの思い・願い  
 農作物を育ててみたい  
 育てた農作物を売ってみたい

教材観  
 農作物を育て、持ち帰ることで  
 農作物の育て方や農家の人の思い  
 に気づく教材である。

教師の願い・手立て  
 農作物を育てる経験を通して、  
 野菜を育てている人の思いに気づか  
 せたい。子どもから主体的に  
 次の学習を出発点とするために、  
 振り返りを大切にする。

【生活科】思いや願いをもつ一活動・行動す  
 り一感じる・考える一まとめる・行爲する  
 (伝え合う)

【総合的な学習の時間】課題設定一情報収集  
 一整理・分析一まとめ・表現

ストーリー (ウェブページを基に子供たちの思考を想定して流れをつくってみましょう)  
 小単元① はつかたに「いん」を育てみよう。  
 はつか大根を金へた。観察をした5元気に育てた。  
 はつか大根がうまく育たなかった。→水をあげ過ぎた?  
 原因は何だろうか。(うまく育てるためにはどうしたら  
 いいのだろうか。)  
 小単元② 野菜の専門家になろう。→スーパ-の旗(11月4日)  
 ・JAの人や地域の農家さんに話を聞きたい。  
 ・インタビューをしよう。  
 ・聞いた話を活用して次の野菜を育てるための  
 情報をまとめよう。(一学期自由)  
 2学期  
 小単元③ 一学期のこゝとをほかにして、野菜を育てよう。  
 ・次に育てたい野菜を決める。(同じもの?)  
 ・育てるための情報を。(何で育てるの?)  
 集めよう。

・その野菜を育てている人の話を聞こう。  
 (インタビュー等)  
 ・実際に育てみる。  
 うまくいった。  
 ・振り返る (なぜうまくいった?  
 ↓ いかげなつた?)  
 農家さんの話を聞いてみる。  
 小単元④ 農家さんや協会の人ももらったから  
 どうしますか? また、野菜を育て  
 経験を通して何を感ずましたか?  
 この先どうしていいですか?  
 ・農家さんへ手紙を書く。何かをやる。  
 ・協会で売れた人を招いて、何かをやる。  
 ・ここからの農業について。

- 【単元構想のチェックポイント】
- 子供たちの思いや願いを中心に単元が練られているか
  - 子供たちにとって、身近で繰り返し関わることができ価値が広がる対象(材)になっているか
  - 学習材に対して、関わりが期待できる「ひと」が考えられているか
  - 子供たちにとって学ぶべき意味・価値のある内容が分析されているか
  - 縦のつながり(グランドデザイン)や横のつながり(単元配列表)が双方向に発掘されているか
  - 小単元のつなぎ目がスムーズに行えるようになっているか
  - 以下の目指す児童像に向かえるような構想となっているか
- ① 「必要感・切実感をもつ子」
    - ・子供たちが行動や実践から単元の学習を始めれば、興味関心が高まり「!」(気付き)や「?」(疑問)を自ら見付けにいき本気の課題をもつだろう。
  - ② 「主体的に学ぶ子」
    - ・自分が見つけてきた! や? を学級で考えて向かう課題やめあてが決まれば安心感が生まれ、対話的になったり、没頭して取り組んだりして主体的に解決へ向かえるだろう。
  - ③ 「自分の生き方に活かす子」
    - ・生活科や総合的な学習の時間を通して、社会や自然の一員として既習事項や他教科と台科化しながら何をどのようにしていくか考えたり、自分にとって学ぶことの意味や価値を考えたりしながら、自己の生き方の糧とするだろう。

